

研究ノート

中国語の助詞「了」をめぐる教学

——日本人の中国語学習者の使用ミスに関する分析を通して——

方 曉 娟

要 旨

助詞「了」は現代中国語においてとても使用頻度の高い語であり、同時に日本人の中国語学習者にとって用法を習得することが難しく比較的にミスを犯しやすい語でもある。本文ではその原因を突き止めるべく、中国語の動詞述語文における助詞「了」の役割に焦点を当てて、日本人の中国語学習者の使用ミスに関するアンケート調査を元に、中国語を学習する日本人はどのようにして日本語の文法構造より影響を受けてミスを犯すかについて分析を行った。それを踏まえて、日本人の中国語学習者の助詞「了」に関する誤用を減らすため、いくつかの教学要領を検討した。

キーワード：助詞 了 た 動詞 完成 実現 文末 語気

はじめに

助詞「了」は現代中国語において使用頻度がとても高い語であり、同時に日本人の中国語学習者（以下日本人学習者と略す）にとって用法を習得することが比較的難しいと考えられる語でもある。彼らはこの語を使う際によくミスを犯す。その原因はいったい何なのか。

現在日本に出版されている中国語の教科書には助詞「了」については大概以下のような

説明がされている。

1 動態動詞「了」

動詞の後ろについて、動作の実現、完了を表す。例えば、

△昨天我买了一本书。/ 昨日私は本を一冊買った。

△明天下了课再说吧。/ 明日授業が終わってからにしよう。

2 語気助詞「了」

文末に使用され、変化・新しい状況の発生を表す。～た。～なった。例えば、

△雨停了。/ 雨が上がった。

また、単にその文で述べられている事柄が実現したことを確認する。～た。例えば、

△他去办公室了。/ 彼は事務室に行った。

このような「了」についての説明を見ると、「了」と日本語の「た」とは各自の言語で非常に類似した文法機能を持っているようである。そのため、日本人学習者は「了」と「た」とは完全対応の関係にあると思いがちで、日本語で「た」を使って表現する文に対応して、中国語の作文で場合を問わずに「了」を使ってしまうケースが多く見受けられる。実際は「了」と「た」とは対応していない点が多く、両者の文法的機能は完全に一致しているわけではない。この点について十分な理解ができていなければ、使い方のミスも多くなる。例えば、

△他去年常常来了。/ 彼は去年しょっちゅう来ていた。

△你从哪儿进来了？我从后门进来了。/ 君はどこから入ってきたか。私は裏門から入ってきた。

上述した二つの文に対して、日本人学習者は日本語では「た」を使って過去の動作を表すということから、それらを中国語に訳す時に当たり前のように「了」を使って表現してしまうケースが少なくない。実際、中国語の場合、上記の二文に「了」を使うと不自然な文になる。

また、「了」が必要とされる時も「了」のつける場所を間違ったりすることもよく見られる。例えば、

△我吃了饭。(誤文)

△他买三本书了。(誤文)

上記のような間違いは筆者が日本人を相手にした中国語の教学実践でよく見られる。では、文法的に見て「了」と「た」の異同はいったいどのようなものなのか、日本人学習者はどんな場合に間違いやすいのか。本文は日本人学習者の「了」の使用ミスに関するアンケート調査の結果を出発点として、中国語での「了」と日本語での「た」に関する今までの諸研究を参考にしながら、「了」と「た」の対応関係、特にその間違いやすい部分と対応

性のない部分に重点を置いて比較し、日本人学習者の使用のミスをなるべく回避できるような教学方法を検討する。

助詞「了」はとても複雑な言語表現であり、今日でもその性質や文法はしばしば議論の対象になる。本文の研究は動詞述語文における助詞「了」、すなわち、動詞の直後に置かれ、「動作の完了（実現）」を表す「了」（動態助詞）と、文末に置かれ、「その文で述べられている事柄が実現したこと」を確認する「了」（語気助詞）のみに焦点を当てる。

日本語の「た」と中国語の「了」の比較

日本語の助動詞「た」は過去、完了、存続、確認、命令の意味を持っている。

過去	昨日私は映画を見た。	①
完了	列車が、今、到着した。	②
存続	もつれた糸をほぐす。	③
確認	あなたは、伊藤さんでしたね。	④
命令	さあ、早く、乗った、乗った。	⑤

本文では動詞述語文を対象に絞るため、上の①と②のみ比較対象とする。

① 昨日私は映画を見た。-----中国語訳文-----→昨天我看了一部电影。

② 列車が到着した。-----中国語訳文-----→列车到了。

上述した二文、においては、「た」をそのまま「了」に訳したように見える。このような翻訳の事例から、「了」も「た」と同じように過去と完了を表すように思われがちである。

過去と完了とは全く異なる概念で、過去とはテンス（時間の流れ）の概念であり、完了はアスペクス（動作の段階）の概念である。ひとつの動作は開始、継続、完了という異なった階段に位置する。どの階段でも過去、現在、未来という時間点に存在できる。これはテンスとアスペクスとは関係があり、また相違があって、区別して対処すべきである。

テンスに関しては、中国語では直接動詞に関連する文法手段が存在せず、時を表す語（時間副詞、時間詞）によってテンスを表す。①と②の中国語訳における「了」は両方とも動詞に後置し「動作の完了（実現）」を表す動態助詞であるが、①の中国語訳では過去を表しているのは時間詞である“昨天”という言葉で、「了」ではない。ここで動態助詞「了」はあくまでも完了を表すマークであり、過去を表すマークではない。

動作の完了は動作自身の完了する段階しか表さず、動作発生の時間と関係がない。そのため、動作の完了を表す文は過去の動作だけではなく、未来の動作にも用い得る。例えば、

△下课了。/ 授業が終わった。（現在完了）

△下了课以后开讨论会。/ 授業が終わったのち、討論会をする。（未来完了）

また、中国語の動詞述語文には文末に語気助詞「了」が用いられ、「文中に述べられている事柄が実現したこと」を確認する語気を表すことがある。例えば、

△昨天我去图书馆了。/ 昨日私は図書館に行った。

△她去图书馆了。/ 彼女は図書館に行った。

上記の場合、文中に述べられている事柄は必ず話した時点より先に実現したと確認される。

したがって、前述した例②の「列车到了」の「了」は動態助詞「了」であるが、文末にあるため、語気助詞「了」でもある。

以下、テンスとアスペクトという二つの側面から、アンケートによる日本人学習者の「了」に関する使用ミス进行分析し、日本語の助動詞「た」と中国語の助詞「了」の用法及びそれらの対応関係を考察する。

「了」に関する日本人学習者の使用ミスについてのアンケート調査と分析

今回のアンケート調査は今年の6月に一年以上の中国語学習歴がある日本人学習者52人を対象にして行ったものであり、アンケートは助動詞「た」を用いた和文を中国語に翻訳させる方法で行った。

調査の狙いは日本人学習者が助動詞「た」を用いた和文を中国語に訳す際に犯しやすい「了」の誤用類型を見出して分析し、教学上における注意事項を整理することを通じて、日本人を相手にする中国語教学方法の改善に役に立てようとするものである。

アンケートの結果から考察すると、テンスとして過去の事実を表す和文の「た」の役割をそのまま中国語の「了」に適用させてしまう傾向がもっとも多い。事実上中国語の「了」はテンスの性質を持っていない。また、「了」を動態助詞つまりアスペクトの「完了」として用いる場合、目的語に具体性があるかどうかなどを気にせずにして、文を完結してしまう傾向も見受けられる。実際は、後に詳しく説明するが、中国語では「了」を用いて「完了」を表す際に、目的語に具体性がない場合、この「完了」は後続の事柄の条件に過ぎず、文を完結させるには後半他の言語成分が必要になってくるのである。

中国語の助詞「了」をめぐる教学

表1 アンケートとその回答集計

	日本語	中国語訳文	誤用率
1	昨日私は辞書を3冊買った。	昨天我买了三本辞典。(正) 昨天我买三本辞典了。(誤)	3%
	私は今日彼女が作ったお弁当を食べた。	我今天吃了她做的盒饭。(正) 我今天吃她做的盒饭了。(誤)	5%
	私はご飯を食べた。	我吃(了)饭了。(正) 我吃了饭。(誤)	80%
	私はけさ新聞を読まなかった。	今天早上我没看报纸。(正) 今天早上我没看了报纸。(誤)	18%
2	明日私は昼ごはんを食べてから泳ぎに行く。	明天我吃了午饭去游泳。(正) 明天我吃午饭了去游泳。(誤)	17%
3	先月彼は中国にいた。	上个月他在中国。(正) 上个月他在中国了。(誤)	7%
4	彼は去年しょっちゅう来ていた。	他去年常常来。(正) 他去年常常来了。(誤)	45%
	私は若い頃タバコを吸った(ことがある)。	我年轻的时候抽过烟。(正) 我年轻的时候抽了烟。(誤)	50%
5	君はどこから入ってきたか。私は裏門から入ってきた。	你从哪儿进来的? 我从后门进来的。(正) 你从哪儿进来了? 我从后门进来了。(誤)	55%
6	去年私は上海で一ヶ月住んでいた。	去年我在上海住了一个月。(正) 去年我在上海住(了)一个月了。(誤)	15%
	彼は10数時間寝ている。	他睡了十几个小时了。(正) 他睡了十几个小时。(誤)	40%
7	彼女はお店に果物を買に行った。	她去商店买水果了。(正) 她去(了)商店买了水果。(誤)	82%
8	彼は知らないと言った。	他说(他)不知道。(正) 他说了(他)不知道。(誤)	62%

1 過去に行われた動作を表す場合

テンスとして、日本語では「た」を用いて過去に行われた動作を表すことに対して、中国語では時間詞や時間副詞またはコンテキストによって過去を表現し、「了」を用いてテンスとしての「た」に対応しているわけではない。過去の動作を表す中国語の文には、形式上「了」を付けているものが多いため、「了」はテンスとしての「た」に対応しているように見えるが、実際この「了」はあくまでも動作の完了を表すものである。

また、「了」を用いる際に

- (1) 目的語に数量詞や限定語があつて、具体性がある場合、動態助詞「了」は文末ではなく動詞の直後につける。例えば、

△我今天吃了她做的盒饭。/ 私は今日彼女が作ったお弁当を食べた。

△昨天我买了三本辞典。/ 昨日私は辞書を3冊買った。

(2) 目的語が簡単で、具体性がない場合、動詞の直後に動態助詞「了」をつけるだけでは、文としては言い切れない。例えば、

△我吃了饭。(誤文)

通常そのあとに「動作の完了に続く行い」などほかの要素が付け加えられる。ここで、文の前半での動作完了は後続の事柄の条件として表される。例えば、

△我吃了饭就睡觉。/ 私はご飯を食べてからすぐ寝る。

後続の事柄の条件としてではなく、ある一定量の動作が完了したことを表す場合、目的語に数量詞や限定語を付けて、目的語を具体化させる構文になる。例えば、

△我吃了三碗饭。/ 私はご飯を三茶碗食べた。

また、文末に語気助詞「了」を加え、文中に述べられている事柄が実現したことを確認することによって文として成立する。例えば、

△我吃了饭了。/ 私はご飯を食べた。

文末に語気助詞「了」がある場合、動態助詞「了」を省略することができる。例えば

△我吃了饭了。⇒我吃饭了。

(3) 否定文は動詞の前に「没有」をつけ、「了」をとる。

日本語文法の影響で、中国語を勉強している日本人には「了」を動詞の直後に付ける傾向がうかがえる。また、否定の場合でも「了」をつけたままという現象が見受けられる。

2 日本語の「…してから」の意味を表す場合

動態助詞「了」は、テンスと関係なくアスペクトの完了を表すものである。過去完了、現在完了、未来完了とも表現できる。ここで動作完了は文の前半にあり、後続の事柄の条件として表される。日本語の「…してから」に対応しうる。例えば、

△明天我吃了午饭去游泳。/ 明日私は昼ごはんを食べてから泳ぎに行く。

△昨天他下了课就回家了。/ 昨日彼は授業が終わってからすぐ帰った。

△我每次下了课就去图书馆。/ 私は毎回授業が終わってからすぐ図書館に行く。

この場合、動態助詞「了」は条件文の動詞の直後に付けるべきである。アンケートでは「了」を目的語の後に付けられてしまうミスが見受けられる。

3 過去の現象や事実を説明し、または過去の願望、意思、感覚、認識、判断を表し、動作性を持たない動詞の場合

日本語では動詞述語文に「た」を用いて過去の事柄を表すが、中国語ではこれらの動詞が動作性を持たないため、動作の完了または実現を表す助詞として「了」を付けてはならない。例えば、

△上个月他在中国。/ 先月彼は中国にいた。

△我那时候觉得很难。/ 私はあの時とても難しいと思った。

△我以前想当空中小姐。/ 私は以前スチュワーデスになりたかった。

これに関してアンケートでは7%の誤用例が見受けられる。

4 過去の習慣的、恒常的な動作または経験を表す場合

動作は過去に発生したため、日本語では「た」が用いられるが、中国語では頻繁にする動作には繰り返しがあがり、実現した、完了したと言えないので、「了」は用いられない。

△他去年常常来。/ 彼は去年しょっちゅう来ていた。(過去の恒常的な動作)

△妈妈以前每天早晨在公园散步。/ 母は以前毎朝公園を散歩していた。(過去の習慣)

また、日本語では過去の経験を表す時に、「動作動詞＋た(ことがある)」を使うが、中国語では「过」を使う。この場合、動作の完了を強調するのではなく、かつてこのようなことがあったという経験性を強調するため、中国語では「了」を使わない。

△我年轻的时候抽过烟。/ 私は若い頃タバコを吸った(ことがある)。(過去の経験)

△我们去年在一起工作过。/ 私たちは去年一緒に仕事をした(ことがある)。(過去の経験)

これに関連する項目では日本人学習者が誤用する率が高く、本アンケートでも使用ミスが50%にも達している。

5 過去の動作に関わる時間、場所、手段などを説明する場合

日本語ではその説明文は「動作動詞＋た(のである)」を使う。それに対して、中国語では「是…的」を使う。この場合、強調されるのは動作の完了ではなく、過去において発生した動作に関わる要素(行為の時間、場所、方式など)である。そのため、文は「了」を使わない。

△你从哪儿进来的? 我从后门进来的。/ 君はどこから入ってきたか。私は裏門から入ってきた。

△我是昨天回日本的。/ 私は昨日日本に帰った(のである)。

△他是坐电车去东京的。/ 彼は電車で東京に行った(のである)。

アンケートから、このような場合でも誤用率が高く55%に達している。

6 ある状況の継続を表す場合

動詞が持続動詞で、動作の期間を表す言葉(時量補語)が付いている場合、文末に「了」がある場合とない場合はまったく異なる意味を表す。過去に行われたこと、実現したことを表現する場合は、動態助詞「了」を使うだけであるが、過去に行われたことの状況の継続を表す場合には、文末に語気助詞「了」を使わなければならない。例えば、

△去年我在上海住了一个月。/ 去年私は上海に一ヶ月住んでいた。

△我在名古屋住了十二年了。/ 私は名古屋に住んで十二年になった。

上記した前の文は上海に住んでいたのはすでに過去のことで、今は上海に既にないと

いうことを表すことに対して、後ろの文は名古屋に住んでいて、十二年になり、今でもまだ名古屋に住んでいるということを表す。

ここである状況の継続を表す場合に助動詞の「了」と語気助詞の「了」を同時に用いなければならない点に関して、日本人学習者には馴染みの薄いことから一箇所だけに「了」を使うミスが多いようである。アンケートでは誤用率が40%であった。

7 「来／去＋動詞（＋目的語）」の文型の場合

「～（動詞連用形）に来た」／「～（動詞連用形）に行った」といった日本語の文型に対して、中国語では「来／去」といった移動動詞に動態助詞をつけることなく、文末に語気助詞「了」をつけることによって、文中に述べられている事柄が実現したことを確認する。例えば、

△她去商店买水果了。／彼女はお店に果物を買いに行った。

△上午他来玩了。／午前彼は遊びにきた。

日本人学習者は日本語の文法による影響で、「来／去」の後ろに「了」を付けるミスが多く見られる。本アンケートでもこのようなミスが最も多く、80%にも達している。

8 文を目的語にとる場合

中国語では動詞が文や引用文を目的語にとる場合、主文の動詞に「了」をつけない。

△他说（他）不知道。／彼は知らないと言った。

△我听说丽丽的妈妈是个高中老师。／私はりりさんのお母さんが高校の先生だと聞いた。

△我看见他走进教室了。／私は彼が教室に入って行ったのを見た。

このような場合でも日本人学習者はとてもミスやすく、主文の動詞に「了」をつけてしまうケースが多い。本アンケートにおいてはこのような誤用が62%もあった。

終わりに

中国語の助詞「了」の使用に関する日本人学習者の犯しやすいミスに関するアンケートの集約と分析の結果、日本人学習者は中国語の動態助詞「了」を日本語の助動詞「た」の役割と同一視しがちであり、また動作の完了（実現）を表すために「了」用いる際に、そのつける場所を違える状況が多く、さらにこの動態助詞「了」を、文末につけられる語気助詞「了」に混同しやすいといった問題点が浮かび上がる。

上述した問題点を回避するために、日本人を相手に中国語を教える際に以下諸点を心得ることが重要であろう。つまり、

第一に、中国語の「了」と日本語の「た」とは両者の文法機能が完全に一致しているわけではなく、特に中国語では動詞はテンスに関連する文法手段をもたず、「了」は過去を表

中国語の助詞「了」をめぐる教学

すマークではないことを強調すること。

第二に、中国語において過去の動作に対しても、その動作が完了（実現）したことを強調する文では動態助詞「了」を用いるが、過去の習慣的、恒常的な動作をまたは経験を表すときや、過去の動作にかかわる時間、場所、手段などを説明するときなど、完了や実現を強調しない場合には、「了」を用いないことに注意を促すこと。

第三に、中国語で「了」を用いて動作の完了（実現）を表すときには、日本語の「た」と同様に動詞の直後につけるが、目的語に具体性がない場合には「動詞＋「了」＋目的語」といった構文は複合文における条件文としてしか成立せず、その直後にほかの言語成分による補充的説明が必要不可欠であることを強調すること。

第四に、助詞「了」は動態助詞として用いられる場合と語気助詞として用いられる場合があるが、両者の文法上の異なる役割が混同されないように学習者の注意を喚起すること。

以上を念頭に置くことが重要であろう。

参考文献

- 1) 宮腰賢監修，石井正編集「国語の資料」正進社，
- 2) 相原茂，陳淑梅，飯田敦子「一年生のころ」朝日出版社，2000年
- 3) 荒川清秀「一步すすんだ中国語文法」大修館書店，2003年
- 4) 郭春貴「誤用から学ぶ中国語」白帝社，2001年
- 5) 李茉莉「试比较汉语表示完成的动态助词“了”与日语表示完成的助动词“た”」《汉语学习》，1990年第3期
- 6) 王宏「日语「た」和汉语“了”的对应关系」《日语学习与研究》，1993年第1期
- 7) 張繼英「日本語の「た」と中国語の「了」との相違」《日本と中国ことばの梯》，くろしお出版，2000年